令和6年(2024年)度行政評価シート【個表】 令和 6年 8月 2日

評価対象事業			評価者	農水課長	太田 朋彦
都整-28	農道整備署	┝ ┈	自治事務	主管課	農水課
重点事業	辰坦從佣司	P未 	□ 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	6-(1) 産業振興	施策の方針	6-(1)-①農	業・漁業の振興

1 事業の日的

	ず木の口に
対	農業従事者等
象	
	農業生産基盤を整備し、生産性の向上、農業経営の安定化を図るため。
义	
効	生産性の向上、農業経営の安定化
果	

2 **令和5年(2023年)度に実施した事業の概要**・鎌倉農業振興地域整備計画に基づき令和4年度に実施した農道整備工事について、管理図面の作成を行った。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業(主な経費等)		指標(単位)	令和5年度 指標(実績値/目標 事業費(決算/当初)		令和6年度 指標(目標値) 予算額(千円)	達成度
01	農道整備事業	管理図面の作成及び 農道整備補助金		_	- /	-	-	
		辰坦登城	順補切金		1,230 /	2,200	-	_
				国県支出金	/			
			財源	地方債	/			
			内訳	その他特定財源	/			
				一般財源	1,230 /	2,200		
			事業費	の合計(千円)	1,230 /	2,200	0	
人件			‡費(千円)		8,356	0		

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	1.1	1.1	1.0	1.1	0.0	
会計年度任用職員	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

5 評価結果

(1) 最小事業評価

<u> </u>	/ 4X 1 T T N II I I I I			
枝番号	事務事業	指標分析の推移、 目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、 構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	農道整備事業	管理図面は、農道工事が完了した後に作成するものであり、 受益面積に影響するものではないため、指標の設定になじまない。また、農道整備補助を受けている一部の者が該当しており、受益面積に影響するものではないため、指標の設定になじまない。	-	-

(2) 視点別評価

/~/ Drwyji			-		
	事業費の削減余地はないか		1 事業費の削減余地はない		
効率性	事業の外部化(民営化・業務委託等)	はできないか	3 外部化ができる事業はない		
	関連・類似する事業の統合はできない	いか	3 統合できる事業はない		
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか		1 市民ニーズは変わらずにある		
女当江	民間によるサービスで代替できる事	業はないか	3 民間によるサービスで代替できる事業はない		
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はと	どうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である		
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入	△-2 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである		
			△-2 市民等と協働して実施する事業はない		
協働	市民等と協働して事業を展開しているか		協働実施済の場合のパートナー		

(3) 総合評価	※最小事業評価を踏まえて	今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】 □ 拡充 □ 改善·変更 □ 現状維持

鎌倉農業振興地域整備計画に基づいて選定した農道6路線(①~⑥)のうち、令和3年度は、路線⑤及び路線⑥の農道整備工事を実施し、令和4年度は、路線①の半分、路線③及び路線④の農道整備工事とともに、令和3年度に整備を実施した農道の管理図面を作成した。令和5年度は、令和4年度に整備を実施した農道の管理図面を作成し、農道6路線(①~⑥)の整備自体は完了した。今後、鎌倉農業振興地域整備計画の見直しを行った上で、農業振興に必要な施策を展開していく。

□ 縮小

■ 休止·廃止

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位) 受益	益面積						単位	ha
指標設定理	曲	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
農作業における環境改善を図れて		目標値	2.6	4.3	1.9			
いるか判断するため		実績値	2.6	3.0	3.2			
		達成率	100.0%	69.8%	168.4%			

指標(単位)							単位	
指標設	定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		目標値						
		実績値						
		達成率						

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	遊休農地の面積及	全休農地の面積及び管内農地面積における遊休農地の割合(令和5年度末データ)								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	寒川町					
他市実績	3.1ha	15.5ha	14.6ha	18.0ha	2.1ha					
他中天根	3.2%	1.8%	4.7%	1.3%	1.0%					

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方

農地面積は市町村で大きな差があるため、管内農地面積における遊休農地の割合を比較する。